

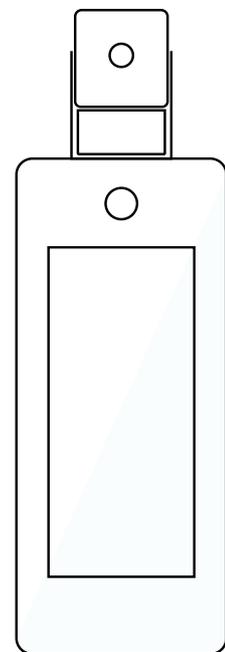
relica

*relica Quick FD
Thermometer*

取扱説明書

relica クイック FD サーモ

RLP044D/NRP049D/RLP066D/NRP067D



もくじ

注意書	-----右ページ
【1】はじめに	-----P3
【2】内容品を確認します	-----P3
【3】各部名称を確認します	-----P3
【4】配線イメージから設置場所を定めます	-----P3
【5】いずれかの方法で取り付けします	
A.壁面設置 ※RLP044D/NRP049Dのみ	-----P4
B.卓上設置 ※RLP044D/NRP049Dのみ	-----P4
C.三脚設置 ※RLP044D/NRP049Dのみ	-----P5
D.専用ポールスタンド設置 ※RLP066D/NRP067Dのみ	-----P6/P7
【6】動作を確認します	-----P8
【7】ネットワークに接続します	-----P9
【8】ネットワーク設定項目を操作します	
A.警告温度を変更する	-----P9
B.記録データを閲覧する	-----P10
C.表示時間を校正する	-----P10
D.ブザーボリュームを変更する	-----P10
E.ソフトウェアアップデートを実施する	-----P11
F.スマートフォン専用視聴アプリで通知を受け取る	-----P11
G.記録データをEXCEL形式でダウンロードする	-----P12
H.マスク検出機能有効にする	-----P13
【9】外部出力機能を使用します(一例:ランプ連携)	-----P13
【10】その他の設定/よくある質問	-----P14
製品保証書	-----裏表紙

このたびは、「relicaクイックFDサーモ」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

〈おことわり〉

本製品は、医療機器ではございません。あくまで表面温度を測定する装置であり、疾患/疾病/症候群を発見、診断するための装置ではございません。

表面温度は測定時の環境条件、被測定者の状態次第で変動します。必要に応じて水銀体温計等を使った測定を行い、医師による診断を促してください。

また、本製品の初期設定が正確に行われていない場合、測定精度が低下する可能性があります。

事件・事故等の損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

万一故障等が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

本製品は、当社保証規定に基づいて保証させて頂いております。

※製品保証書が貼付される裏表紙は、大切に保管してください。

この「取扱説明書」では、本機をご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お取り扱いの際に守っていただきたい事項について「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、本取扱説明書をお読みいただくようお願い申し上げます。

注意書

この度は、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取付前、ご使用前にこの注意書及び取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
※この注意書及び取扱説明書は、大切に保管し、必要な時にお読みください。

—おことわり—

※本製品は弊社保証規定に基づいて保証させていただきます。

※本紙は大切に保管してください。※仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本製品は高温測定の検出を目的として設計されております。正確に体温を測定するためには医療用の水銀体温計等をご使用ください。

—正しく設置・ご使用いただくために—

■ こんな場所には設置しないでください

・蛍光灯などの光源が直接カメラの視野に入る場所 ・太陽が季節、時刻を通して直接カメラの視野に入る場所 ・X線や放射線、および強い電波や磁気の発生する場所
※製品仕様の「動作環境」内の場所に設置してください。

■ その他の注意事項

・電源は必ず弊社の AC アダプター、または電源供給器をご使用ください。 ・本体に強い衝撃、振動を与えないでください。

・汚れなどが付着するため、定期的にかメラのレンズを清掃してください。

警告表示の意味

この「注意書」では、本製品を設置、または使用される方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お取り扱いの際、守っていただきたい事項について次の「図記号」で表示しています。図記号の意味を十分にご理解のうえ、この「注意書」をお読みいただくようお願い申し上げます。



警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

禁止を表します。してはいけない内容です。



注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがあります。



指示

必ず実行しなければならない内容です。

安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故につながる場合があります。本紙には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の正しい取り扱い方を記載しています。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管して下さい。

警告



注意

分解・改造等をしない
火災や感電、故障の原因となります。



注意

ぬれた手で本製品にふれない
感電や故障の原因となります。



指示

故障や異常にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。そのままご使用になりますと、故障の拡大や思わぬ事故の原因となります。



注意

浴室など湿気が非常に高い場所や、水に浸かるおそれのある場所には設置しない。火災や感電、故障の原因となります。



注意

機器の重みに耐えられない場所には取付けない。感電や故障の原因となります。

注意



注意

赤外照明投光器の光を長時間見続けず。本製品には、目には見えませんが赤外線を発光する機種がございます。赤外線の熱効果により、目を傷つけるおそれがあります。



注意

ストーブやコンロなど、高温になる物を近づけない。変形や故障の原因となります。



注意

磁石など、磁気を帯びた物を近づけない。誤動作や故障の原因となります。



注意

腐食性のガスや塵埃がかからないようにする。故障や寿命低下の原因となります。



注意

電気製品など、電氣的ノイズや電磁波が発生する物を近づけない。誤動作や故障の原因となります。



指示

本製品を構成する部品には消耗品が含まれます。定期的な点検の実施および交換をおすすめします。

保証規定

本紙は記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合、本紙をご確認頂きまして、下記カスタマーサポートまで修理を依頼してください。

- お買い上げ日が不明な場合は、有料修理とさせていただきます。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

この保証規定は記載内容の範囲で無料修理をお約束するものであり、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- 無料修理規定 -

1. 注意書、取扱説明書等に従った正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理・調整いたします。
2. 保証期間中であっても以下の場合は有料修理となります。
 - ・お客様側での移動時の衝撃等が原因の故障
 - ・工事、使用上の誤り、不当な改造による故障
 - ・火災、雷等天災、その他自然災害、異常電圧による故障
 - ・本製品に接続された他社製品が原因の故障
 - ・消耗品、付属品に起因する故障
3. 本製品の正常なご使用状態以外で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責に任じません。
4. 本保証規定は、日本国内で使用される場合に限り有効です。
5. 弊社は出張修理を行っておりません。持込・配送修理のみ対応しております。
6. 弊社に修理依頼品をご送付いただく際の送料は、お客様にてご負担願います。

【1】はじめに

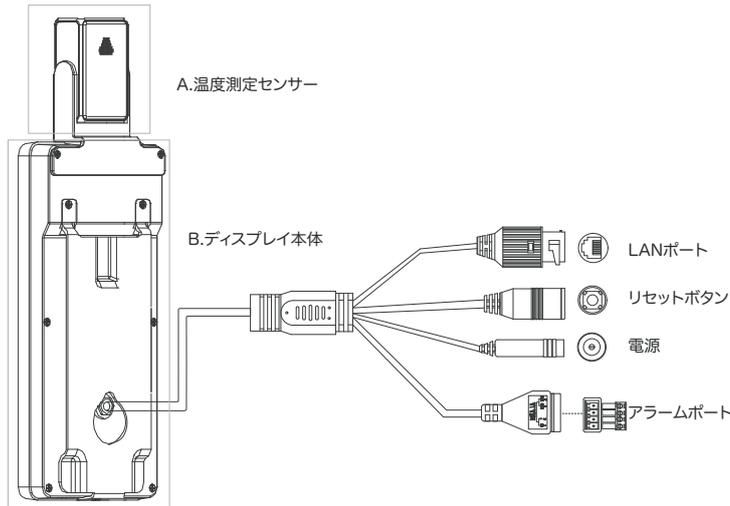
この商品は、温度測定センサーを搭載した顔検出カメラです。自動的に顔検出を行い表面温度を測定します。正しい位置で測定をすることにより、最大±0.3度の誤差で測定時間は最短1秒で結果を表示します。また0.7～1.2メートルの範囲で測定可能です。測定結果が正常な場合、測定結果が異常な場合を分別し表示します。顔の検出、測定結果を同時に確認する仕組みです。液晶画面は7インチIPS高精細カラー画面仕様で、画質はクリアに表示されます。設置場所は病院、ホテル、オフィスビルの入り口、スーパー、政府機関、その他商業施設、等様々な場所に適しています。

※本製品は、医療機器ではございません。あくまで表面温度を測定する装置であり、疾患/疾病/症候群を発見、診断するための装置ではございません。

【2】内容品を確認します

- サーモシステム本体 1台
(温度測定センサー+ディスプレイ)
- USBアダプター(OUT:5V2A) 1台
- 給電用USBケーブル 1本
- 設置用ラベル、計測用ラベル 各1枚
- 取付用ビス・コンクリートアンカー 1セット
(RLP044D/NRP049Dのみ付属)
- 壁面設置用金具 1台 (RLP044D/NRP049Dのみ付属)
- 卓上スタンド 1台 (RLP044D/NRP049Dのみ付属)
- ポールスタンド 1セット (RLP066D/NRP067Dのみ付属)

【3】各部名称を確認します

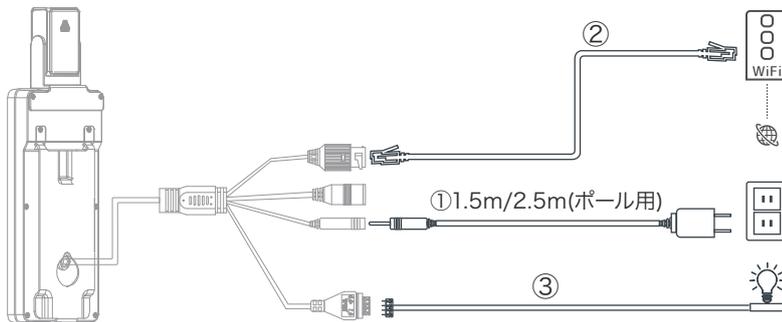


■本体仕様

A	測定温度精度	±0.3度
	測定温度距離	最大1.2m/最適な測定距離は70cm
	検出器	非冷却酸化バナジウムコークス平面センサー
	誘導型	マイクロロメーター
B	サイズ	7インチ
	マテリアル	IPS
	解像度	1024×600
基本	設置方法	壁面設置/卓上設置/三脚取付/ポールスタンド
	防水防塵性能	※
	素材	アルミニウム合金
動作環境	場所/温度	室内 / 温度16～35℃
	湿度	湿度70%未満

LANポート(イーサネット)	RJ45ネットワークポート
リセットボタン(RST)	リセット専用タッチボタン
電源	DC5V2A, DC005メス2.1*5.5
アラームポート	2CHアラーム出力(アクセス制御またはサウンド/ライトアラーム)

【4】配線イメージ



製品の動作に必要な配線

- ① 付属のUSBアダプターと給電用USBケーブルを使用し、コンセントとディスプレイ本体を接続します。

※必ず付属のUSBアダプター、USBケーブルをご利用ください。従わない場合、火災・故障の原因となります。

製品の動作に必ずしも必要でない配線

- ② 【ネットワーク機能】 LANケーブルを用意し、インターネット接続済みルーターと接続します。
- ③ 【外部機器と連携】 出力機能を利用し、外部機器と接続します。例：ランプ

※動作確認前にビス等で固定しないでください。

■使用環境について

【正しく測定するためには・・・】

1. 室内に設置してください。
2. 湿度を70%未満に調整してください。
3. 室温を16～35℃の範囲内に調整してください。
4. 額部分が測定基準位置になります。
測定時に額が汗で濡れていたり、髪の毛で隠れないようにしてください。
5. 推奨環境内で測定しているか定期的にご確認ください。測定距離は最大1.2mです。最適な測定距離は0.7mです。

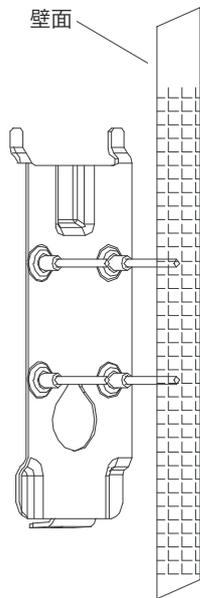
※防水性について---本製品は完全防塵・防水仕様ではございません。
※動作環境について---対象外の環境下では、測定精度の低下を招くおそれがあります。
※屋外環境では、太陽光等の影響により測定データに大きな誤差が生じるため、屋外での使用はお控えください。

【5】いずれかの方法で取付します

A. 壁面設置 ※RLP044D/NRP049Dのみ

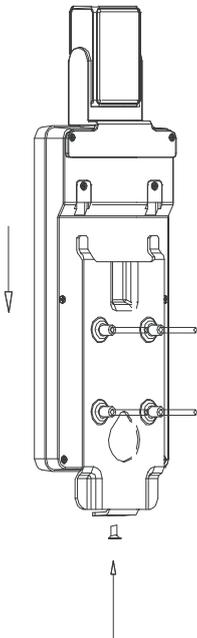
①

壁に穴をあけゴム製のプラグを挿入します。
ネジを本体に固定しゴム製のプラグにかけます。



②

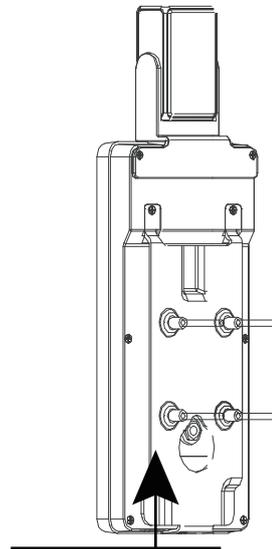
本体を壁に掛けねじ込みます。



③

電源を入れます。

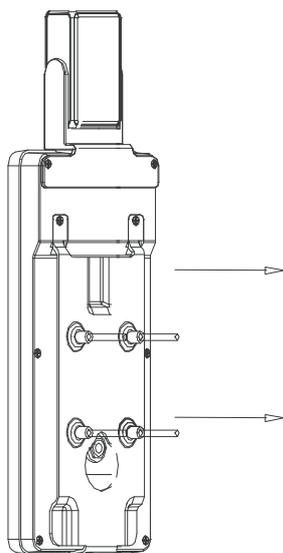
(注意)
必ず線の位置が床から高さ100~130cmになるように設置してください。
(ネットワークに接続する場合は、LANケーブルの配線が必要です。)



B. 卓上設置 ※RLP044D/NRP049Dのみ

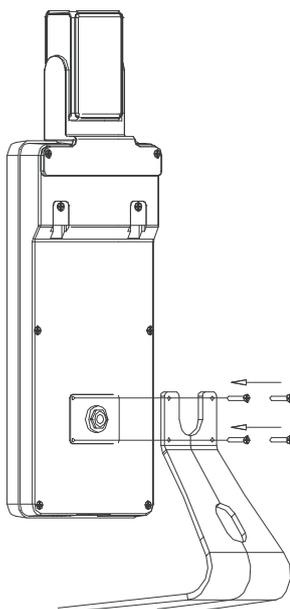
①

予め、本体背面の壁面設置用金具を外します。



②

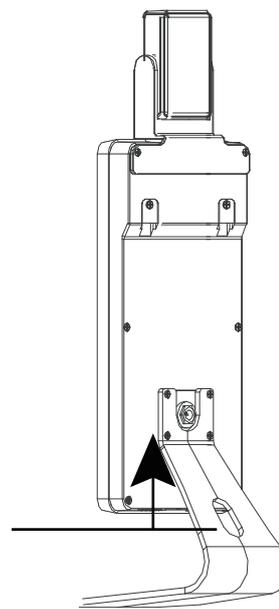
本体を卓上スタンドに取り付け、4本のネジで固定します。



③

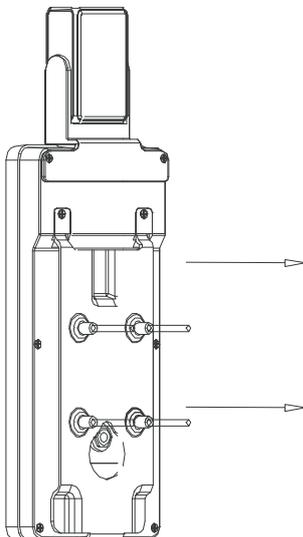
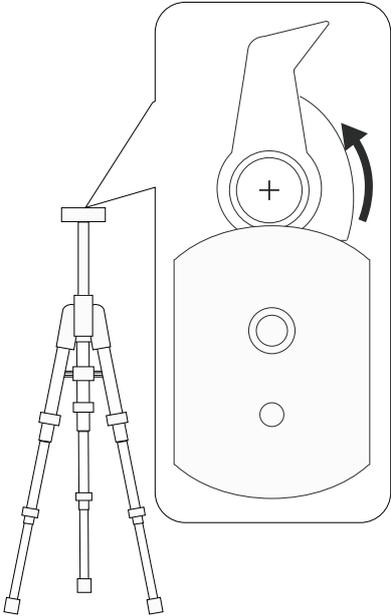
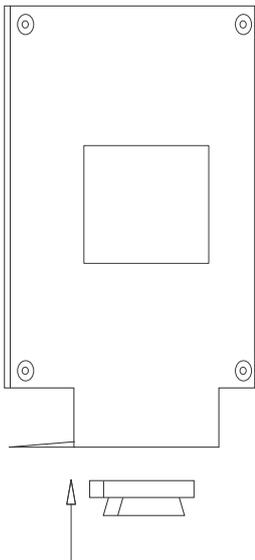
電源を入れます。

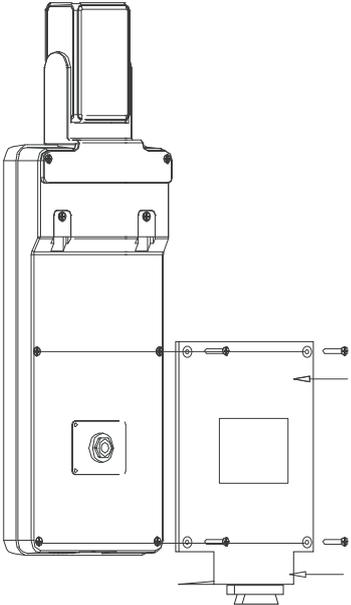
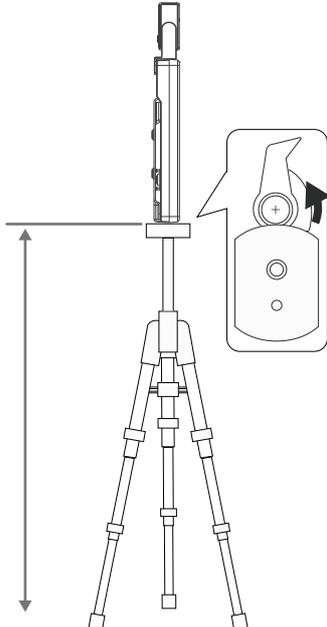
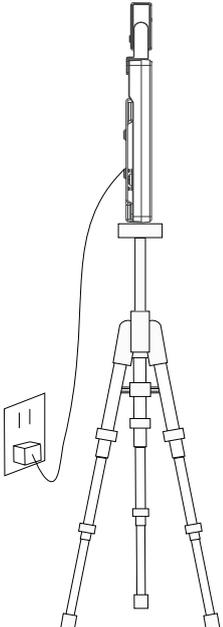
(注意)
必ず線の位置が床(足元)から高さ100~130cmになるように設置してください。
(ネットワークに接続する場合は、LANケーブルの配線が必要です。)



【5】いずれかの方法で取付します(続き)

C.三脚設置 ※RLP044D/NRP049Dのみ

<p>① 予め、本体背面の壁面設置用金具を外します。</p>	<p>② 三脚を用意し、先端部に装着される取付治具を外します。 レバーを90°回転させると、取付治具の固定が解除され、取り外しが可能となります。 ※一般的な三脚を想定しています</p>	<p>③ ②の取付治具を三脚用取付金具にネジ固定します。 取付治具底面の取手付きネジを取付金具底面へ固定してください。</p>
		

<p>④ 本体を三脚用取付金具に取り付け、4本のネジで固定します。</p>	<p>⑤ 三脚を開いて固定し、適切な高さに調整します。 ③で用意した金具付本体を三脚に取り付けます。取付は、②と同様の原理です。 ※床から本体最下部まで100cm~130cmを目安としてください。</p>	<p>⑥ 電源を入れます。 (注意) ネットワークに接続する場合は、LANケーブルの配線が必要です。</p>
		

【5】いずれかの方法で取付します(続き)

D. 専用ポールスタンド設置 組立説明 ※RLP066D/NRP067Dのみ

ポールスタンド取扱い注意事項

【組立前】

- 水平な安定した場所に設置し、必ず転倒防止措置を講じてください。設置面が傾斜していたり、地盤が土の場合、転倒や事故の原因となります。
- 運搬等により塗装面に傷が付くことがあります。
- 製品は、防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性があります。
- 製品の隙間に、指や手を挟まないようにご注意ください。
- 製品のふちを手で擦ったりしないで下さい。手や指を切る場合があります。
- 組立ては2人以上で行ってください。

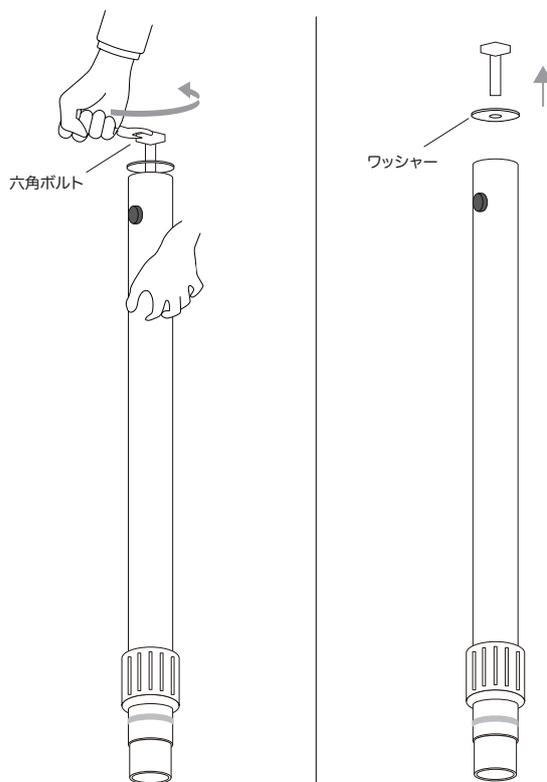
【組立後】

- 指定した用途以外で使用しないでください。
- 防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性がありますのでご注意ください。
- 引きずったり、傾けたりしないでください。製品に歪みが生じ、正常な使用ができなくなる場合があります。
- 金具がゆるんだまま使用していると、変形・破損及び転倒の原因となり大変危険です。定期的に金具がゆるんでないか点検し、ゆるみの箇所はしっかりと締め直してください。

■組立てに必要なもの

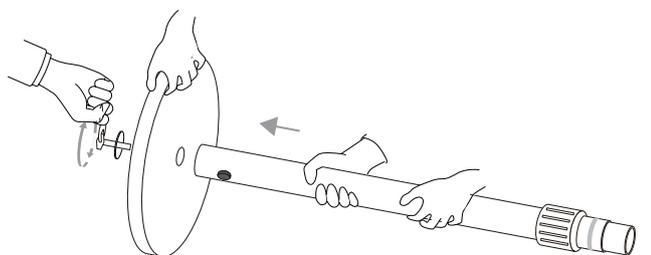


- ① (D)ポールスタンドを箱から取出し、ポールスタンドを逆さにします。次にポールを押さえながら、スタンド底面にある六角ボルトを(C)スパナで取り外します。※(C)スパナは専用台座に同梱されています。六角ボルト、ワッシャーは、次項で使用します。

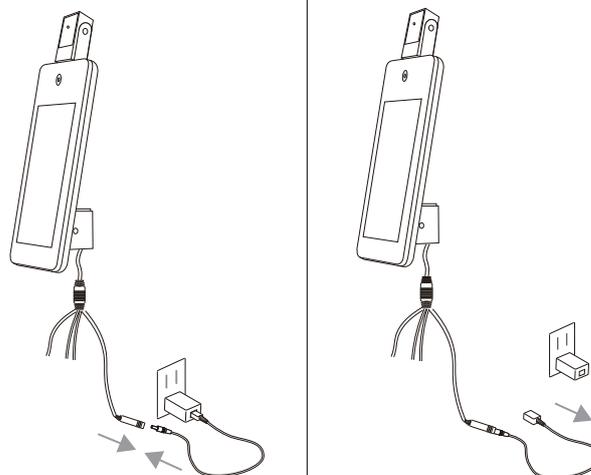


- ② (C)専用台座を箱から取出し、横向きにします。(D)ポールスタンドも同様に横向きにしたら、スパナで取り付けていきます。完了させたら、ポールスタンドを直立させてください。※しっかりとボルト止めしてください。
※本作業は、重量物を取り扱うため、二人以上の作業を推奨します。
※専用台座は6kgです。取扱いには十分に注意してください。

- ③ (A)サーモシステム本体と(B)を箱から取り出し後、接続し通电確認します。サーモシステムディスプレイに「システム初期化中…」の画面が表示されたら、正常に通电していると判断できます。通电を確認できたら、5V2Aアダプターとの接続を解除します。



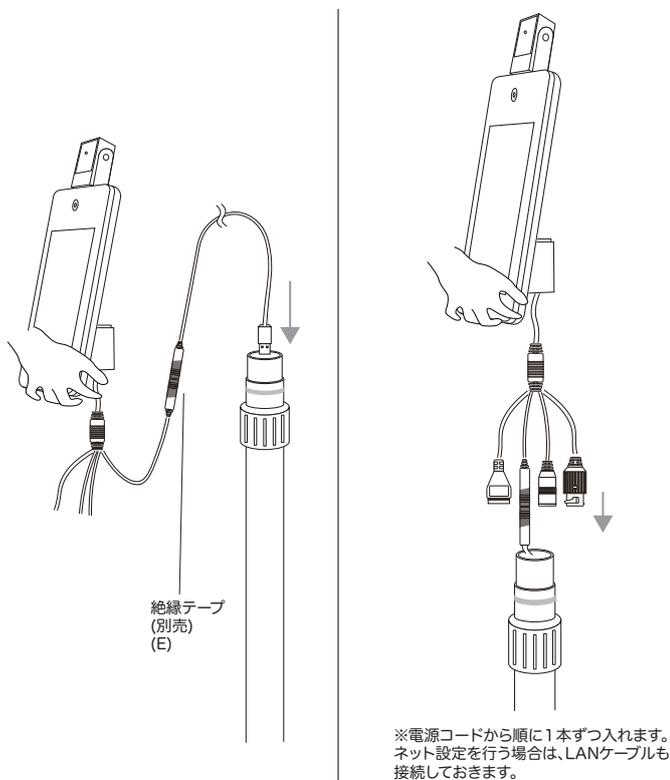
※本作業以降は2人以上で行うことを推奨します。
※専用台座は、重量物です。取扱いには十分に注意しましょう。
※しっかりとボルト止めされていない場合、転倒や事故の原因となり大変危険です。



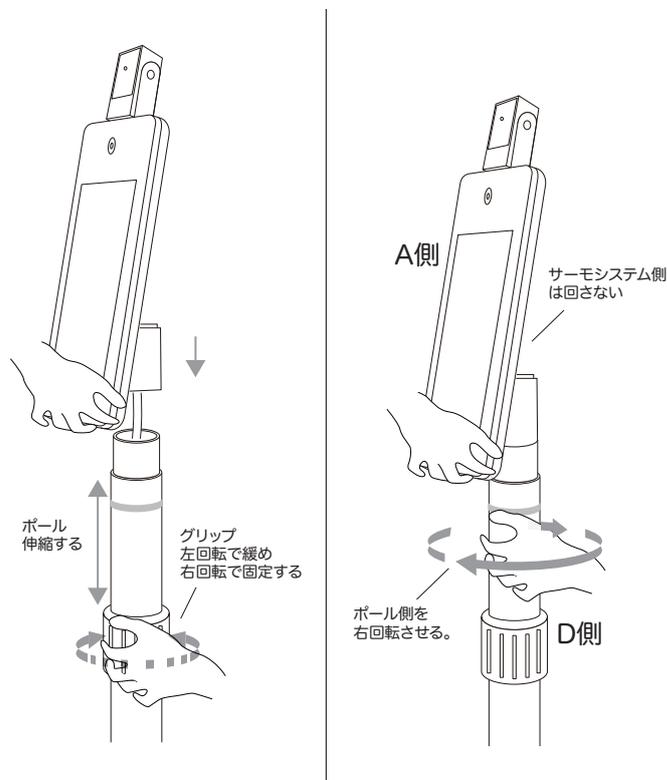
【5】いずれかの方法で取付します(続き)

D. 専用ポールスタンド設置 組立説明 ※RLP066D/NRP067Dのみ

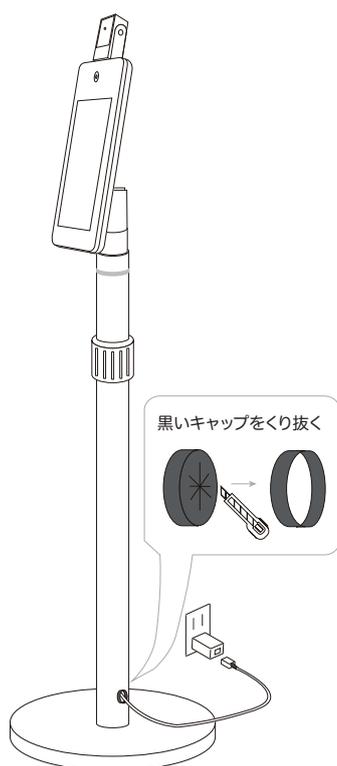
④
まず、電源端子部分は、(E)絶縁テープ(別売)を貼付し保護します。
次に(A)サーモシステム本体と2.5mコードをポールスタンド上部から入れ込みます。必要であれば、LANケーブル・アラームケーブルも接続しておきます。



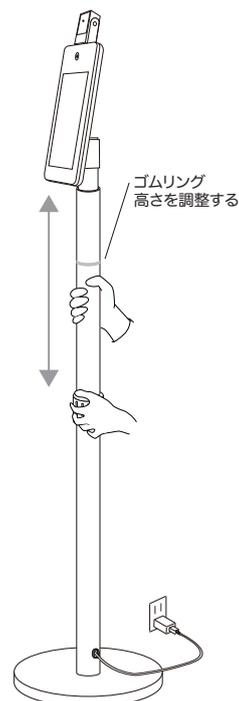
⑤
(D)ポールスタンドのグリップ部分を左回転させ、緩めるとポールが伸縮します。ポールを少し伸ばし、グリップを右回転させ固定します。
次に、(D)ポール側を右回転させ、(A)サーモシステム本体に固定します。このとき、(A)側を回転させないでください。また、傾いて固定されていないかを確認してください。



⑥
ポール下部に取り付けられている黒いキャップの真ん中を(F)カッターでくり抜きます。その後、ケーブル類が傷つかないよう、保護してください。下部まで電源コードが降りてきたら、ポールスタンドの穴から出します。



⑦
怪我の無いよう、ゴムリングの高さを調整しましょう。ゴムリングは、製品落下による事故防止のため使用します。完了後、グリップを緩めポールの高さを調整します。(最大120cm)
最後にアダプターへ接続し、グリップで長さを調整したら、組立完了です。



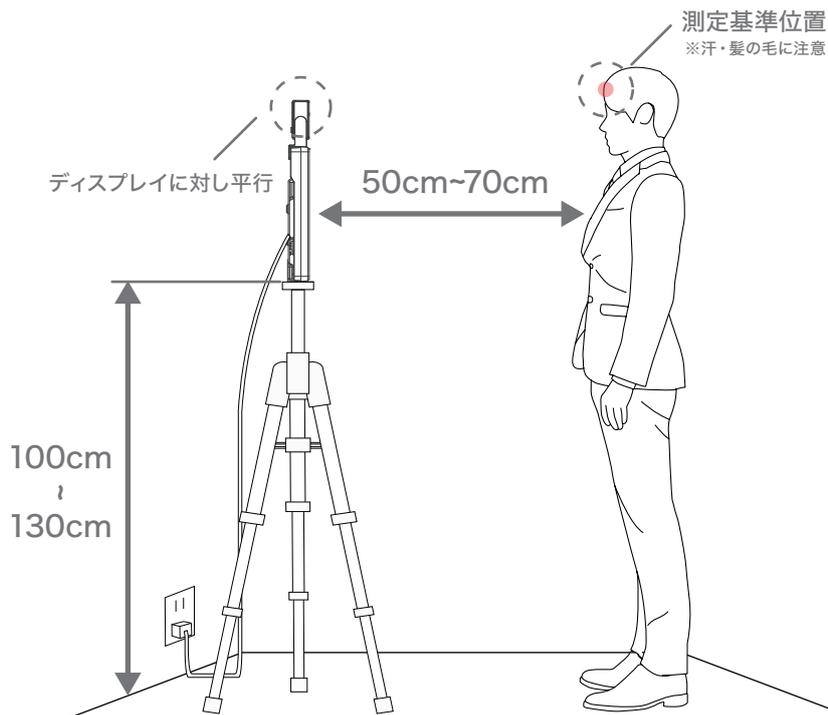
※ゴムリングの調整は、作業者の腕への衝撃防止措置として必要な作業です。

【6】動作を確認します

計測方法（一例）

- 湿度70%未満
- 室温16°C以上35°C以下

※本製品は完全防塵・防水仕様ではございません。
 ※動作環境について—対象外の環境下では、測定精度の低下を招くおそれがあります。
 ※屋外環境では、太陽光等の影響により測定データに大きな誤差が生じるため、屋外での使用はお控えください。



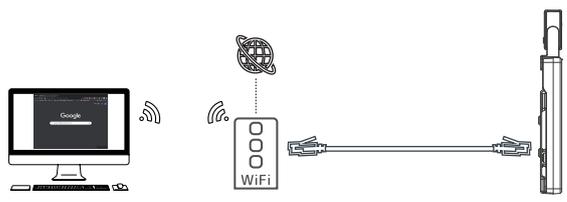
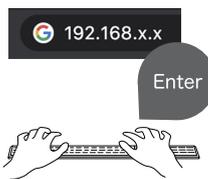
- ① 【4】設置イメージ、【5】取付に関し、理解した上で本製品を設置します。（理想の高さ110cm）
- ② 電源を入れます。（正しく測定するためには、電源投入後30分ほど経過してからご使用ください）
- ③ 起動が完了したら、測定を開始します。被写体となる顔はカメラの正面方向を向くようにし、本商品の液晶画面から50cm~70cmの位置に立つようにして下さい。
 このとき、サーモパイルセンサーがディスプレイに対し平行であることを確認してください。
- ④ カメラはリアルタイムで温度情報を表示し、異常な温度(警告温度)を検出するとアラームが作動します。
 （異常温度の初期値は37.3°C以上です。）

35°C以下	35.1°C以上(正常値)	警告温度
<p>■黄色で表示</p> <p>35°C以下の表示は、黄色で表示されます。この値は正常と判断されます。表面温度が十分に温まったあと再度測定することを推奨します。</p> <p>OK(表面温度):34.9°C</p>	<p>■青色で表示</p> <p>35.1°C以上の表示は、青色で表示されます。この値は正常と判断されます。</p> <p>36.3°C</p>	<p>■赤色で表示</p> <p>異常温度の表示は、赤色で表示されます。この値は発熱している可能性が高いと判断されます。体温計で再測定することを推奨します。</p> <p>37.6°C</p>

注意事項

- a. 本商品の運用を開始する30分以上前に電源を入れて起動することを推奨します。
- b. 測定時の顔と画面間の距離は70cm程度が最適です。
- c. 床(足元)から本体下部までの高さが100~130cmの位置に設置してください。
- d. 背の高い方は少しかがみ、額を画面の枠内に収まるよう調整してください。
- e. 背の低い方も同様、額が画面に入るよう調整してください。
- f. 顔が画面に完全に表示されない場合は測定できないのでご注意ください。
- g. 3秒以内に緑色の顔枠が表示されない場合は、マスクを外して再度測定してください。
- h. 外出、運動、入浴の直後の測定は、精度が下がります。その場合は測定前に30分間程度、使用環境の温度に馴染む事を推奨します。
- i. 額が汗等で濡れていないこと、また髪の毛等で隠れないように気をつけて下さい。
- j. 推奨環境内で測定しているか定期的にご確認ください。屋外の高温環境から来た場合は2~3分経ってから測定することを推奨します。
- k. 本商品は高温測定の検出を目的として設計されております。正確に体温を測定するためには医療用の水銀体温計等をご使用ください。

【7】ネットワークに接続します(ネットワーク環境必須)

<p>①パソコンを用意しブラウザを開く</p>  <p>対応WEBブラウザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Chrome:Chrome79 (2019年12月11日)以降 ■Edge:80.0.361.48 (2020年2月7日)以降 ■Safari:Safari13(608.5.12) (2020年1月28日)以降 <p>パソコンを用意し、お使いのインターネットブラウザを開いておきます。推奨ブラウザは、Google Chrome、Edge、Safariです。なお、パソコンは、無線もしくは有線でルーターへ接続しておきます。</p>	<p>②製品本体をルーターと接続する</p>  <p>LANケーブルを用意し、製品本体へ差し込みます。その後、パソコンと同様のルーターへLANケーブルを接続します。(P3参照)正常に接続されると端子部分から「カチ」と音が聞こえます。接続完了から一分程度待ちます。</p>
<p>③IPアドレスを確認する</p> <p>※本機のIPアドレスは自動的に取得されます。DHCPが無効だったり、一般的な環境でないネットワークに接続される場合は、ご自身で調整して進めてください。</p> <p>IP:192.168.x.x</p> <p>製品ディスプレイ左下の「IPアドレス」を確認します。正常に通信されていれば、「192.168」で開始された値が表示されています。正常に表示されない場合は、少し時間を空けてください。</p>	<p>④ブラウザでIPアドレスを入力する</p>  <p>インターネットブラウザで、「IPアドレス」を入力します。インターネットブラウザの検索窓から、入力が可能です。入力後Enterキーを押すと、サーモシステムへアクセスされます。初期passwordとして[admin]を入力しログインします。</p>

2つのモードの違い



本製品には、2つの機能切替モードが存在します。スタンドアロンモードは初期設定値であり、製品の細かな設定を行えます。特筆すべきは、外部出力機能を利用できる点です。これによりランプ点滅などの外部機器連携が可能となります。プラットフォームモードは、スマートフォンアプリへの通知機能を利用でき、記録データダウンロードも行えます。必要に応じ、切り替えながらご利用ください。

機能	●スタンドアロンモード	●プラットフォームモード
スマートフォンアプリ通知機能	×	○
アクセスゲートパラメーター(外部出力機能)	○	×
インターフェース設定(使用しません)	○	×
キャプチャパラメータ(使用しません)	○	×
記録データダウンロード	×	○

【8】ネットワーク設定項目を操作します

A.警告温度を変更する

<p>①【7】を完了させ、タブメニューを選択する</p>  <p>【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。</p>	<p>②警告温度を変更する</p>  <p>下にスクロールしていくと、警告温度の入力項目があるので、希望する温度を入力し保存しましょう。(本製品の計測精度は、±0.3°Cです)最大値は43°Cまで入力できます。</p>
--	---

【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)

B.記録データを閲覧する

【7】を完了させ、タブメニューを選択する		a.記録データの絞り込みを行なう																			
 <p>記録検索</p>		<p>検索時間: 2020-11-05 00:00:00 ~ 2020-11-06 23:59:59</p> <p>温度選択: 正常範囲</p> <p>検索</p>																			
<p>【7】を完了させた後、タブメニューから「記録検索」を選択します。選択した段階で、記録された情報が列挙されます。ID、写真、測定結果、時間がテーブル表示されます。</p>		<p>本画面左上には、記録情報の絞り込みを可能にするメニューがあります。検索時間、温度設定について選択し、検索することができます。</p>																			
b.記録データを削除する		※本データのダウンロード方法…																			
<p>削除</p> <p>全て削除</p>		 <table border="1"> <thead> <tr> <th>顔画像</th> <th>検温結果</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>43.0°C</td> <td>2020/11/05 12:07:39</td> </tr> <tr> <td></td> <td>36.7°C</td> <td>2020/11/05 12:07:38</td> </tr> <tr> <td></td> <td>43.0°C</td> <td>2020/11/05 12:07:28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.7°C</td> <td>2020/11/05 12:07:17</td> </tr> <tr> <td></td> <td>43.0°C</td> <td>2020/11/05 12:06:40</td> </tr> </tbody> </table>		顔画像	検温結果	時間		43.0°C	2020/11/05 12:07:39		36.7°C	2020/11/05 12:07:38		43.0°C	2020/11/05 12:07:28		25.7°C	2020/11/05 12:07:17		43.0°C	2020/11/05 12:06:40
顔画像	検温結果	時間																			
	43.0°C	2020/11/05 12:07:39																			
	36.7°C	2020/11/05 12:07:38																			
	43.0°C	2020/11/05 12:07:28																			
	25.7°C	2020/11/05 12:07:17																			
	43.0°C	2020/11/05 12:06:40																			
<p>本画面右上には、記録情報を削除するためのボタンが配置されています。記録情報の左側にチェックを入れ「消去」することができます。全てのデータを削除する場合は、「全て消去」を選択します。</p>		<p>本情報をダウンロードするためには、専用WEBページへ移動する必要があります。また予めプラットフォームモードへ切り替えておく必要があります。(詳しくはP10へ)</p>																			

C.表示時間を校正する

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する		②時間設定を変更する	
 <p>システム設定</p>		<p>時間設定</p> <p>NTPタイムサーバー: ntp.nict.jp タイムゾーン: +9</p> <p>時間: 2020-11-05 12:27:27</p> <p>ローカル時刻に同期 NTPサーバーに同期</p>	
<p>【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。</p>		<p>下にスクロールしていくと、「時間設定」項目が表れます。「NTPサーバー」(時刻同期サーバー)項目を入力し、「タイムゾーン」は+9にします。 ※NTPサーバーは、インターネット上で無料公開されています。</p>	

D.ブザーボリュームを変更する

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する		②ボリュームを変更する	
 <p>システム設定</p>		<p>ボリューム 80</p> <p>確認</p>	
<p>【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。</p>		<p>開くとすぐにボリュームの入力項目があるので、希望する音量を入力し確認しましょう。ボリュームは100(%)表示で90~95dB(デシベル)です。 ※90db=「犬の鳴き声」</p>	

【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)

E.ソフトウェアアップデートを実施する

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する



【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。
※アップデート中に電源が切れた場合、製品が故障する恐れがありますので、ご注意ください。

②アップグレードボタンを押す



下にスクロールしていくと、アップグレード項目があるので、「アップグレード」をクリックします。内容を確認し、「確認」を押します。

③アップデート完了を確認する

🟢 アップロードは成功しました、デバイスが再起動しています

アップデートが開始されます。アップデート完了後、画面中央上へメッセージが表示され、製品は再起動を開始します。

F.スマートフォン専用視聴アプリで通知を受け取る

①【7】を完了させ、スマホアプリをインストールする



【7】を完了させた後、スマートフォンを用意し、アプリ「Doby」をインストールします。アプリ起動直後は、Dobyアカウントを作成する必要があるため、メールアドレスとパスワードを準備しましょう。※専用WEBページと同一アカウントです。

②スマートフォンをルーターに接続する



スマートフォンの本体設定から、2.4Ghz帯域のWiFiネットワーク(SSID)へ接続します。このとき、サーモシステムが接続されているルーターと同様のネットワークに接続されているかを確認してください。

③専用視聴アプリへ製品を登録する



専用アプリを立ち上げ、ホーム画面「+」をタップします。「スマートカメラ」→「サーモシステム」→「有線接続」と順に選び、設定を進めます。この後の設定は、画面の指示に従い進めます。設定が完了すると、ホーム画面に製品が登録されています。

④測定結果の通知を受け取る



初期設定値ではサーモシステムで測定すると、正常値/警告値に関わらずスマホ通知が実行されます。どちらか何れかのみ通知も設定できます。※予め、製品は、プラットフォームモードへ切り替えておきましょう。

他のスマホと共有

通知を共有する方法として、シェアする側のDobyアカウントと同様のアカウントでログインする方法があります。まず、①~④を完了させた後、共有するスマートフォンでアプリ「Doby」をインストールします。次に起動直後の「ログイン」ボタンを押します。ログイン画面が表示されたら、①で作成したアカウントのメールアドレスとパスワードを入力してください。この作業により同一のアカウントで製品を操作することができます。



【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)

G.記録データをEXCEL形式でダウンロードする

注意

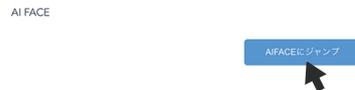
この機能は、プラットフォームモードへ変更したのちアカウントを取得することで利用できる機能です。当該設定を完了していない場合、専用WEBページで記録データは生成されません。事前に本設定の①~⑥までを設定しておきましょう。

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する



【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。
※予めプラットフォームモードに変更しておきます

②専用WEBページへ移動する



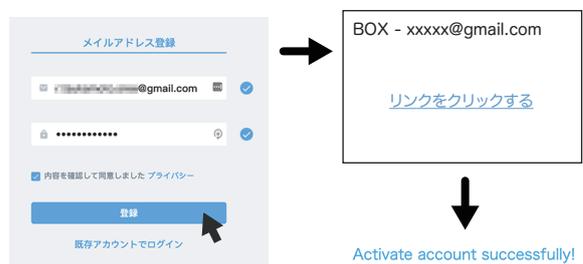
下にスクロールしていくと、「AI FACEにジャンプ」ボタンが配置されていますので、クリックします。クリックすると、専用WEBページへ移動します。

③専用WEBページへログインする



専用WEBページにて、ログインまたはアカウント作成を行います。スマホでの登録設定が完了している場合、「メールアドレス」「パスワード」でログイン後、⑥へ移動してください。そうでない場合は次項へ移動してください。

④アカウントを作成する



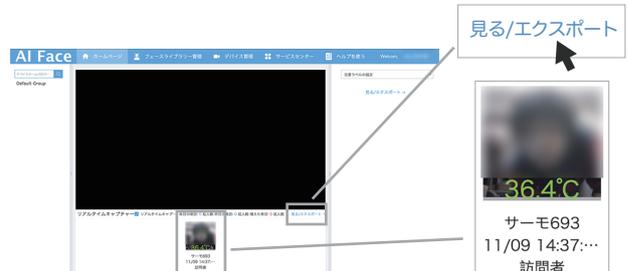
アカウントを登録するには、メールアドレスとパスワードが必要です。利用可能なメールアドレスとパスワードを入力し、お使いのメールBOXを開きます。メールBOXに登録用メールが配信されていますので、リンクを押すと登録完了します。

⑤製品をアカウントに登録する



③へ戻り、ログインを完了させたら、画面上メニュー「デバイス管理」→「デバイスを追加する」へ進みます。このとき、製品の「CID」並びに「検証コード」を入力する必要があります。(製品背面ラベル要確認)入力後正常であれば、登録完了します。

⑥測定データを確認する



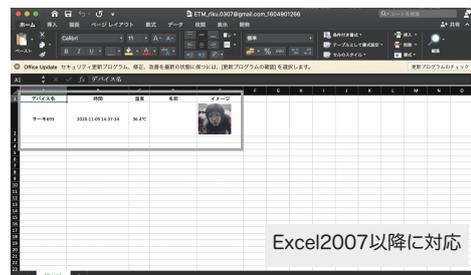
画面左上メニュー「ホームページ」をクリックします。画面中央下に測定画像が表示されていれば、ダウンロードできます。「見る/エクスポート」をクリックしてください。※表示されていないければ、測定データが存在していないことを意味します。

⑦EXCELデータをエクスポートする



画面が移動したら、「エクスポート」をクリックし、必要なデータを選んだのち「実行します」を押します。デバイス、測定結果、時間からフィルタリングすることも可能です。

⑧EXCELで開いてデータを確認します



エクスポートされたデータは、[.xlsx]ファイルとなり、MicroSoft Office「EXCEL」で開くことができます。指定されたデータのデバイス名、時間、測定結果、イメージ(写真)を閲覧できます。

【8】ネットワーク設定項目を操作します(続き)

H.マスク検出機能を有効にする

①【7】を完了させ、タブメニューを選択する



【7】を完了させた後、タブメニューから「システム設定」を選択します。

②マスク検出機能を有効にする



開くとすぐに、「マスクを着用しましょう」再生項目があるので、チェックを入れます。内容を確認し、「確認」を押します。

③動作を確認する



マスクを着用していない被測定者を検出した場合、アナウンスが自動的に再生されます。また測定データにもマスク着用状況が記録されます。
※マスクの種類や撮影環境によって正しく検出されない場合があります。

【9】外部出力機能を使用します(一例:ランプ連携)

①ランプを用意し、製品に接続する



パトランプを用意し、サーモシステムのアラームポート部品へ接続します。接続方法は、ランプメーカーによって異なります。配線や電源については、ランプメーカーへご確認ください。

②【7】を完了させ、操作を進めます



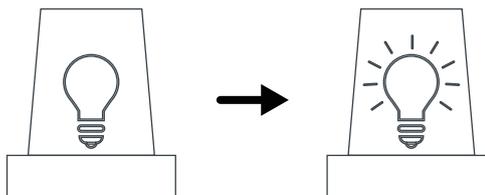
【7】を完了させた後、インストレーションモードをスタンドアロンモードに変更します。変更後、「アクセス/ゲートパラメーター」をクリックします。

③動作確認する



「外部インターフェイス」のチェックボックス「有効にする」を押し、「テスト」をクリックします。

④動作確認する



「テスト」をクリックした段階で、正常であればランプが点滅します。

その他の設定

- a. スクリーンセーバーを調整する: 「システム設定」→「スクリーンセーバー時間」
選択項目値を変更し、「確認」をクリックする。
- b. 表示映像を反転させる: 「システム設定」→「映像表示」
選択項目値を変更し、「確認」をクリックする。
- c. 音声内容を変更する: 「システム設定」→「音声」
「正常範囲内の効果音を再生する」→測定結果が正常だった場合の効果音をON/OFFできます。
「高温時の効果音を再生する」 →測定結果が正常でない場合の効果音をON/OFFできます。
「測定結果を音声再生する」 →測定結果を音声で読み上げます。
「OK/NGを再生する」 →測定結果が正常値であれば「OK」、そうでない場合は「NG」と読み上げます。
- d. 【admin】ログインパスワードを変更する: 画面右上「パスワード変更」し、変更する。
- e. 【admin】ログアウトする: 画面右上「ログアウト」をクリックする。

よくある質問

- 1 Q. 正しく体温が測定されていない。
 - A. 本機は表面温度を測定する機器です。従いまして、被測定者の表面温度が外気の影響を受けて深部温度と異なる場合、脇式体温計などと異なる温度測定結果が表示される可能性があります。

※本商品の体温補正の仕組みについて

 - ・表面温度が25℃～30℃未満の場合、体温補正して表示する。※但し、注意表示有り
 - ・表面温度が25℃以下の場合、補正せずに「表面温度が低下しています」と表示する。
- 2 Q. IPアドレスが正常に割振られません。
 - A. ・接続先ルーターのDHCP機能が無効とされている場合、正常に動作しません。
・特殊なネットワーク構成である場合、正常に動作しません。
- 3 Q. スマートフォンアプリへ通知されません。/AI Faceで操作ができません。/アップデートできません。
 - A. 製品の接続先ネットワークは、WAN(Wide Area Network)へ常時接続される必要があります。ファイアーウォールならびにプロキシサーバーでの制限が設けられている場合は、正常に動作しません。
- 4 Q. パソコンを製品に直接接続して操作できますか？
 - A. 所定の作業を実施すればできます。所定の作業: 製品のIPアドレスとパソコンのIPアドレスを同一セグメント化する。
- 5 Q. 時間が正常に表示されません。
 - A. インターネットへ接続することで補正が可能です。

商品保証規定

この商品保証規定は、記載内容の範囲で弊社商品（以下、本商品といいます）を無料修理、または交換することをお約束するものです。

- ご注文番号が不明な場合は、有料修理とさせていただきます。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

注意書、取扱説明書等に従った使用方法（以下、正常なご使用状態といいます）で保証期間内に故障した場合は、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換致します。保証の対象となるのは本商品の本体部分のみです。ソフトウェア、付属品、消耗品、関連するデータ等は保証の対象とはなりません。

1. 保証対象外

- ・落下・衝撃等、本商品のお取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- ・工事、使用上の誤り、不当な改造による故障もしくは損傷の場合
- ・火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- ・接続時の不備に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・接続している他社製品に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・正常なご使用状態に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- ・消耗品、付属品に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・合理的使用方法に反するお取扱い、またはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- ・その他弊社が保証対象外と判断した場合

2. 修理

- ・本商品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- ・弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- ・弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本商品、もしくはその部品は弊社にて適宜処分しますので、お客様にはお返し致しません。

3. 免責

- ・本商品の正常なご使用状態以外で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本商品の故障もしくは使用によって生じた関連する保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本商品に隠れた瑕疵があった場合、弊社は無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない商品が同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

4. 保証有効範囲

- ・この商品保証規定は、日本国内で使用される場合に限り有効です。(Our company provide s the service under this warranty only in Japan.)
- ・弊社は出張修理を行っておりません。持込・配送修理のみ対応しております。

製品保証書		お名前	
※保証期間	ご購入日 年 月 日 より 1年間	ご住所	
製品型番		ご購入店 所在地	
※製造番号 シリアルNO.			

relica シリーズ お客様サポート窓口

【TEL】 050-5306-7252

電話受付時間（平日）9時～12時 / 13時～18時

【Email】 support@relica.jp

運営会社：株式会社 SREE

〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉一丁目6番27号

本取扱説明書の内容、製品の外観 / 仕様 / 機能は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

2021.09